

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月03日

計画の名称	札幌市内における総合的な浸水対策の推進(防災・安全)											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)											重点配分対象の該当
交付対象	札幌市											
計画の目標	近年、全国的に頻発している局地的な集中豪雨や大雨による被害を最小限にするため、河川の改修や流域貯留浸透施設の整備を行うことで、総合的な治水対策を推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,508	A	3,508	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	定量的指標の定義及び算定式 本整備計画内の河川改修等を進めることで、河川氾濫による浸水から守られる区域の割合を67%（R2）から91%（R6）に向上させる。 10年～50年に1回程度発生する規模の降雨での想定氾濫区域面積のうち、河川改修により浸水から守られる区域の面積の割合 氾濫防御率(%) = 気象防御区域の面積(ha) / 想定氾濫区域の面積(ha)	計画の成果目標(定量的指標)				定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)				
		67%	77%	91%				
1								

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
北海道強靭化計画及び札幌市強靭化計画に基づき実施される要素事業：A全て												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											R02	R03	R04	R05	R06		
		備考																	
河川事業	A03-001	河川道	北海道	札幌市	直接	札幌市	流貯(1)	-	石狩圏域流域貯留浸透事業(伏籠川)	流域貯留浸透施設(14箇所)	札幌市						882	4.1	-
	A03-002	河川道	北海道	札幌市	直接	札幌市	流貯(1)	-	石狩圏域流域貯留浸透事業(望月寒川)	流域貯留浸透施設(1箇所)	札幌市						89	1.2	-
その他総合的な治水事業	A08-003	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	広域系	-	石狩圏域総合流域防災事業(雁来川)	護岸・掘削(L=0.5km)	札幌市						697	9.9	-
	A08-004	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	広域系	-	石狩圏域総合流域防災事業(モエレ中野川)	護岸・掘削(L=0.3km)	札幌市						310	1.4	-
	A08-005	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	準用	-	石狩圏域総合流域防災事業(北郷川)	護岸・掘削(L=0.4km)	札幌市						463	20.2	-
	A08-006	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	準用	-	石狩圏域総合流域防災事業(厚別西川)	護岸・掘削(L=0.8km)	札幌市						779	1.2	-

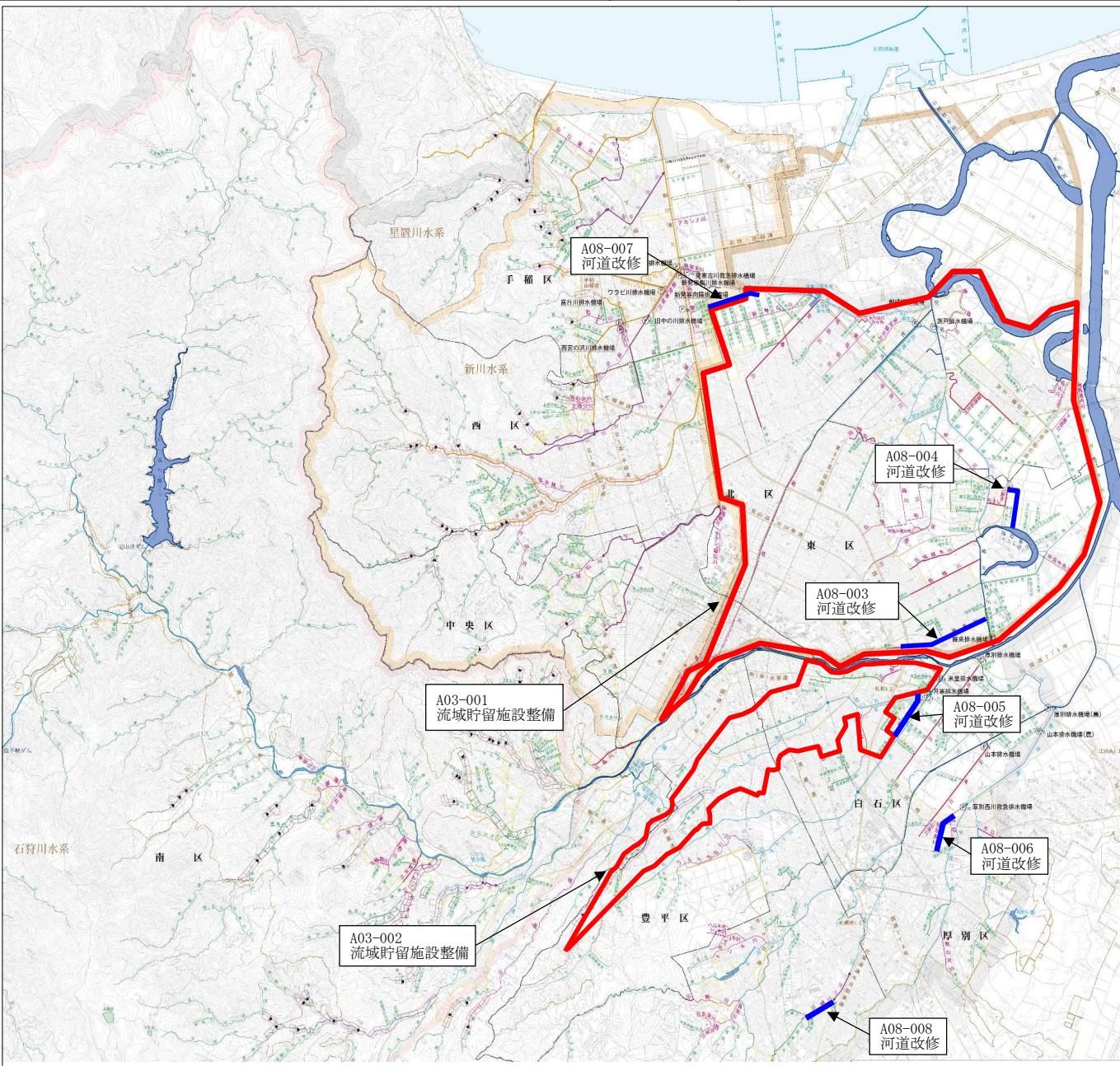
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	
		一體的に実施することにより期待される効果											R02	R03	R04	R05	R06			
		備考																		
その他総合的な治水事業	A08-007	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	準用	-	石狩圏域総合流域防災事業（新川西川）	護岸・掘削（L=0.4km）	札幌市						266	1.8	-	
	A08-008	総合治水道	北海道	札幌市	直接	札幌市	準用	-	石狩圏域総合流域防災事業（三里川）	実施設計	札幌市						22	4.8	-	
												小計						2,537		
												合計						3,508		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	社会資本総合整備計画期間終了後、札幌市にて事後評価を実施した。
事後評価の実施時期	令和7年11月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	河川や流域貯留浸透施設の整備を進めたことにより、治水安全度が向上している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	治水整備と併せて多自然川づくりを進めることで、多様な河川環境が保全・創出されている。
特記事項（今後の方針等）	
今後も着実に河川および流域貯留施設の整備を進め、雨に強いまちづくりを進めていく。	

目標値の達成状況				
番号	指標（略称）			
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	氾濫防御率 (%)		施設管理者との協議の難航により、流域貯留施設整備が計画通り実施できなかつたため。	
	最終目標値	91%		
	最終実績値	78%		

(参考様式3)

計画の名称	札幌市内における総合的な浸水対策の推進（防災・安全）		
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付対象	札幌市
			

A08-007 河道改修

A03-001 流域貯留施設整備

A03-002 流域貯留施設整備

A08-003 河道改修

A08-004 河道改修

A08-008 河道改修

A08-005 河道改修

A08-006 河道改修